

利用料金規定一覧

相模原市立新磯ふれあいセンター

相模原市立ふれあいセンター条例（一部抜粋）

平成 11 年 12 月 22 日

条例第 33 号

(利用料金)

第 8 条 第 6 条第 1 項の規定により利用の承認を受けたもの(第 3 条第 1 項第 6 号及び同条第 2 項第 7 号に掲げる機能回復コーナーの利用の承認を受けた者を除く。)は、第 18 条の規定によりセンターの管理を行うもの(以下「指定管理者」という。)に対し、センターの利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を納付しなければならない。

- 2 利用料金は、別表第 2 に定める額の範囲内において、指定管理者が市長の承認を得て定める。
- 3 利用料金は、前納とする。ただし、規則で定める場合は、後納とすることができる。
- 4 利用料金は、指定管理者の収入とする。

(回数利用券の発行)

第 10 条 指定管理者は、市長の承認を得て、券面額から割引をして得た額をもって当該券面額の回数利用券を発行することができる。

- 2 前項に規定する回数利用券により利用することができる施設は、第 3 条第 1 項第 7 号に掲げる施設とする。

(利用料金の不還付)

第 11 条 既に納付された利用料金は、還付しない。ただし、指定管理者は、規則で定めるところにより、その全部又は一部を還付することができる。

別表第 2 (第 8 条関係)（一部抜粋）

(1) 基本利用料金

ア 相模原市立新磯ふれあいセンター

施設		単位	利用料金
多目的ホール	多目的ホール 1	1 日(午前 9 時～午後 10 時)	6,400 円
	多目的ホール 2		2,900 円
	多目的ホール 3		2,500 円
交流広場			3,600 円
陶芸窯室		陶芸窯での焼成 1 時間につき	300 円
大広間		夜間(午後 6 時～午後 10 時)	1,300 円
浴室		1 回	大人 260 円
			小人 130 円

備考

- 1 小人とは、中学生以下の者をいう。
- 2 陶芸窯での焼成時間が1時間未満のとき、又は焼成時間に1時間未満の端数があるときは、これを1時間とみなす。

(2) 加算利用料金

ア 第3条第1項第1号、第2号若しくは第4号又は同条第2項第1号から第3号まで、第5号若しくは第6号に規定する施設(以下「多目的ホール等」という。)を利用するものが、商業の宣伝、商品の販売その他これらに類する目的のために利用するときは、基本利用料金に120パーセントを乗じて得た額を加算する。ただし、商業の宣伝、商品の販売その他これらに類する目的のために利用し、かつ、入場料その他これに類する料金(以下「入場料等」という。)を1,000円を超えて徴収するときは、基本利用料金に150パーセントを乗じて得た額を加算する。

イ ア以外の場合で、多目的ホール等を利用するものが入場料等を徴収するときは、基本利用料金に次に定める率を乗じて得た額を加算する。

1人当たりの入場料等の最高額	率
300円以下	30パーセント
300円を超え1,000円以下	80パーセント
1,000円超	130パーセント

(3) 延長等に係る利用料金

第3条第1項第1号若しくは第2号又は同条第2項第1号から第3号までに規定する施設のいずれかの利用の承認を受けた時間の延長又は繰上げの承認を得て利用する場合の当該延長又は繰上げに係る利用料金は、1時間につき、当該利用に係る1日の基本利用料金の額(ただし、加算利用料金の加算がある場合には、これを加えた額)に10パーセントを乗じて得た額とする。この場合において、延長又は繰上げに係る利用の承認を受けた時間に1時間未満の端数があるときは、これを1時間とみなす。

(利用料金の納付時期)

第 9 条 利用料金は、利用の承認を受ける際に納付しなければならない。ただし、指定管理者が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(利用料金の後納)

第 10 条 条例第 8 条第 3 項ただし書の規定により利用料金を後納とすることができる場合は、国又は地方公共団体が利用する場合その他指定管理者が特に必要があると認めた場合とする。この場合において、承認を受けた利用者は、指定管理者が指定する期限までに利用料金を納付しなければならない。

(利用料金の還付)

第 12 条 条例第 11 条ただし書の規定による利用料金の還付は、次の各号に掲げる場合に、当該各号に定める率により行う。

- (1) 災害その他承認を受けた利用者の責めによらない理由により利用できなかったとき。 既納利用料金の 100 パーセント
- (2) 承認を受けた利用者が利用を開始する 30 日前までに利用の取消しの申請をし、指定管理者の承認を受けたとき。 既納利用料金の 80 パーセント
- (3) 承認を受けた利用者が利用を開始する 7 日前までに利用の取消しの申請をし、指定管理者の承認を受けたとき。 既納利用料金の 50 パーセント

2 前項の規定により利用料金の還付を受けようとする承認を受けた利用者は、指定管理者が別に定める方法により、指定管理者に還付の申請をするものとする。

相模原市立相模の大風センター

相模原市立相模の大風センター条例（一部抜粋）

平成14年12月24日

条例第51号

(利用料金)

第8条 第3条第3号に掲げる施設を団体で専用して利用する承認を受けたものは、第17条の規定によりセンターの管理を行うもの(以下「指定管理者」という。)に対し、当該施設の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を納付しなければならない。

- 利用料金は、別表に定める額の範囲内において、指定管理者が市長の承認を得て定める。
- 利用料金は、前納とする。ただし、規則で定める場合は、後納とすることができる。
- 利用料金は、指定管理者の収入とする。

(利用料金の不還付)

第10条 既に納付された利用料金は、還付しない。ただし、指定管理者は、規則で定めるところにより、その全部又は一部を還付することができる。

別表(第8条関係)

1 基本利用料金

室名	利用単位	1日 (9時～22時)
	工作室	7,300円

2 加算利用料金

(1) 工作室を団体で専用して利用する承認を受けたものが、商業の宣伝、商品の販売その他これらに類する目的のために利用するときは、基本利用料金に120パーセントを乗じて得た額を加算する。ただし、商業の宣伝、商品の販売その他これらに類する目的のために利用し、かつ、入場料その他これに類する料金(以下「入場料等」という。)を1,000円を超えて徴収するときは、基本利用料金に150パーセントを乗じて得た額を加算する。

(2) (1)に規定する以外の場合で、工作室を団体で専用して利用する承認を受けたものが入場料等を徴収するときは、基本利用料金に次に定める率を乗じて得た額を加算する。

1人当たりの入場料等の最高額	率
300円以下	30パーセント
300円を超え1,000円以下	80パーセント
1,000円超	130パーセント

3 延長等に係る利用料金

利用の承認を受けた時間の延長又は繰上げの承認を得て利用する場合の当該延長又は繰上げに係る利用料金は、1時間につき、当該利用に係る1日の基本利用料金の額(ただし、加算利用料金の加算がある場合には、これを加えた額)に10パーセントを乗じて得た額とする。この場合において、延長又は繰上げに係る利用の承認を受けた時間に1時間未満の端数があるときは、これを1時間とみなす。

(利用料金の後納)

第6条 条例第8条第3項ただし書の規定により利用料金を後納とすることができる場合は、国又は地方公共団体が利用する場合その他指定管理者が特に必要があると認めた場合とする。この場合において、専用利用者は、指定管理者が指定する期限までに利用料金を納付しなければならない。

(利用料金の還付)

第11条 条例第10条ただし書の規定による既納利用料金の還付は、次の各号に掲げる場合に、当該各号に定める率により行う。

- (1) 災害その他専用利用者の責めによらない理由により利用することができなかつたとき。 既納利用料金の100パーセント
- (2) 利用日の30日前までに利用の取消しの申請をし、指定管理者の承認を受けたとき。 既納利用料金の80パーセント
- (3) 利用日の7日前までに利用の取消しの申請をし、指定管理者の承認を受けたとき。 既納利用料金の50パーセント
- (4) 第7条第2項の規定による承認事項変更の承認により、既納利用料金が過納となったとき。 既納利用料金のうち過納額の100パーセント

2 前項第2号及び第3号に規定する期限の末日が、休所日に当たるときは、その直後の開所日を当該期限の末日とする。

3 第1項の規定により既納利用料金の還付を受けようとする専用利用者は、指定管理者が別に定める方法により、指定管理者に還付の申請をするものとする。